

木材調達計画

- 必要原木量：約 2,800 m³
- 木材調達：市有木材で調達予定（H28・29 造林事業）
全て長門市産材を活用して建設予定
- 補助金：国土交通省のサステナブル建築物等先導事業（木造先導型）に採択決定。



全体事業費・財源

種別	金額（百万円）
新庁舎建設工事	3,800
別館・車庫棟改修工事	70
外構工事	270
既存施設解体工事	120
その他	490
合計（消費税含む）	4,750

種別	金額（百万円）
合併特例債	3,000
庁舎建設基金	1,000
補助金	550
一般財源	200
合計	4,750

今後の建設状況の動向は、オリンピック施設計画や震災復興による資材価格や人件費の高騰により建設費が上昇すること考えられます。実施設計段階において、発注時の建設単価を想定し、再度建設費の見直しを行います。

全体スケジュール

合併特例債の活用を想定しているため、外構工事を除く建設事業を平成 31 年度内に終え、平成 32 年度に事業を完成させるスケジュールとします。

年月	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
内容	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9
基本・実施設計 （申請手続含む）	基本設計	実施設計			
木造調達・加工		木材調達	木材加工		
新庁舎建設工事		発注準備	新庁舎建設	仮使用開始	
新庁舎への移転				移転	
本庁別館・車庫棟改修工事				本庁別館改修	
本庁舎解体工事				既存本庁舎解体	
外構工事				外構整備	グランドオープン

お問い合わせ先
長門市企画総務部総務課 庁舎建設準備室
Tel 0837-23-1197 FAX 0837-22-6345
e-mail chosha@city.nagato.lg.jp

長門市庁舎建設基本設計概要

- 全国初の 5 階建て耐火木造庁舎 -



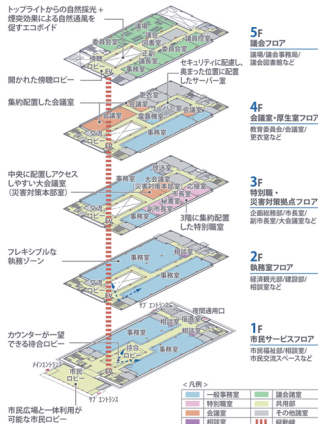
■ 建物の概要

	新庁舎棟	エントランス棟
構造・規模	木造+RC造（免震構造） 5階建	木造+RC造（耐震構造） 平屋建
建物高さ	26.0m	4.6m
建築面積	1,765.14m ²	
延べ面積	6,879.72m ²	216.0m ²

■ 配置計画



■ 平面計画



新庁舎木造化の概要

市民の「安全・安心」の拠点として、利用しやすく親しみのある庁舎を木造で実現することがテーマです。

本市は、地域の木材を積極的に公共建築物に活用する取り組みを行っており、本計画により、その最大効果が期待されます。

また、単に市庁舎の木造化にとどまらず、真に機能性、安全性、快適性を兼ね備えることで、今後の庁舎等の積層型大規模公共建築物の木造化をけん引するモデルプロジェクトとなることを目指しています。

プロジェクトの特色

木造庁舎としては国内最大となる延べ面積 7000 m²超の建物規模

- ・1～5階すべてに耐火木構造部材を使用（国内初）
- ・1階部分は柱梁とも2時間耐火木構造部材を採用（梁の2時間耐火は国内初）
- ・木造 + RC 造のハイブリッド構造 - 免震構造の組合せによる合理的な架構計画
- ・木 + RC 合成梁による 12m のロングスパン

木造庁舎の3つポイント

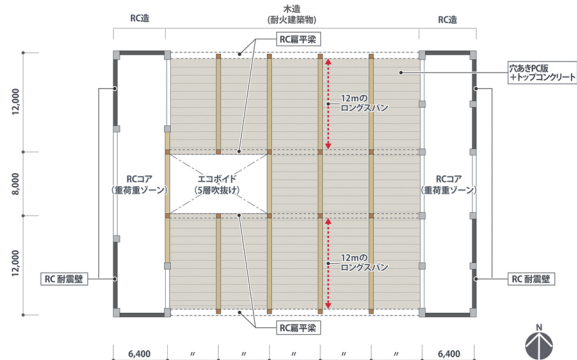
ポイント①：市民の誇りとなる木造空間の創出

- ・庁舎の構成が一目で分かる5層吹き抜け空間の創出
- ・木架構現しの室内空間



ポイント②：庁舎としての機能性・柔軟性・安全性の確保

- ・庁舎としての機能性を高める躯体のスリム化（機能性）
- ・木 + RC 合成梁による 12m のロングスパン（柔軟性）
- ・5 階建て 2 時間耐火木造 + 免震構造（安全性）



ポイント③：適材適所の地元産材使用

- ・長門市産スギ大断面集成材による新庁舎棟
- ・長門市産一般製材を主体としたエントランス棟
- ・市産材の供給能力に応じた計画

